

機械器具 32 医療用吸引器
 一般の名称 胸腔排液用装置 10817000
CVN ニードルキット

再使用禁止

【警告】

- 救急救命の専門家から訓練を受けた上で使用すること
- 血液体液で汚染された場合は廃棄すること

【禁忌・禁止】

- 製品を改造・分解しないこと
- 再使用禁止



種類	重量 (g)	針内径 (mm)	針長① (mm)	針長② (mm)	カテーテル長 (mm)
14G	2	1.15	88	103	83

重量はニードル+カテーテルの合計

**【形状・構造及び原理】

1. 外観図

1) 収納時



2) 展開時



2. 原材料

部位名	材質
ケース本体、 ケースキャップ	ABS樹脂
ニードル	ステンレス (SUS304)
カテーテルチューブ	ポリ塩化ビニル

3. 寸法

1) 収納時



種類	重量(g)	全長(mm)
14G	17	143

重量はケース+キャップ+ニードル+カテーテルの合計

2) 展開時 (ニードル、カテーテル)



4. 原理

ニードルにカテーテルを取付け、胸腔穿刺が必要な患部まで穿刺し、ニードルのみを引き抜き、脱気を行う。

【使用目的又は効果】

肺損傷に伴う緊張性気胸に対し、本品を用いて穿刺脱気を行うことで、気胸を防止する。

【使用方法】

- ニードルを指す位置を決める (負傷した側の前胸部の鎖骨中央線の第2肋間、または前腋窩線の第4肋間)。
- 消毒液を使用して挿入予定部位を洗浄する。
- ニードルをケースから取り出す。
- 肋骨の下端を避けて、肋骨の上端のすぐ上の穿刺予定位置にニードルを挿入する。胸壁に対して90度の角度で肋骨腔にニードルを向ける。
- 針が胸膜腔に適切に挿入されている場合、緊張性気胸の減圧に伴って、空気が逃げていく。ニードルを所定の位置に5~10秒間保持する。
- ニードルを取り外し、カテーテルを所定の位置に残す。現地の医療機関の指示に従ってカテーテルを固定する。
- 緊張性気胸の再発や呼吸困難がないか患者を注意深く監視する。

【使用上の注意】

- 本品は緊張性気胸を軽減する手順について適切な訓練を受けた専門家のみが使用すること。
- 本品の不適切な使用は、患者の生命に重大な影響を与える可能性があるため、絶対に行わないこと。
- 本品は単回使用品のため、再使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

水濡れに注意して、直射日光及び高温多湿をさけて常温で保管すること。

滅菌済み有効期限：製造後5年(未開封)

【保守・点検に係る事項】

破損がある場合は、使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区一丁目14番地20 光正第2ビル301

株式会社オーストリッチインターナショナル

電話：045-470-9041（代）

FAX：045-470-9043

製造業者

Anji Hengfeng(中華人民共和国)